

だい かい しょうわみらい かいぎ 第9回「昭和未来会議」について

1. 昭和未来会議とは？

(1) 開催概要

これまでのプログラムの概要と今後の予定は以下の通りです。参加者の状況や各話し合いの結果によっては適宜内容を変更します。これからは、これまでの話し合いをもとに、実際に昭和地区での活動を進めていければと考えています。ぜひご参加ください！

第1回 日時：6月4日（土）10～12p.m.

- レクチャー 地域福祉、地域福祉計画とは
- レクチャー 知立市と昭和地区の現状の共有
- ワーク 理想の昭和地区を考えよう！ワールドカフェ



昭和地区の「今」を知る、未来を描く

第2回 日時：7月2日 16：00～

- レクチャー 昭和地区で活動している事例の共有
- ワーク① 昭和地区の「理想の未来」「課題」を深めよう！「やりたいこと・やるべきこと」を考えてみよう！



昭和地区の魅力と課題を共有する

第3回 日時：8月6日 15：00～

- レクチャー 知立東小学校について
- ワーク 昭和地区で「やりたいこと」を具体的にしよう！



昭和地区でいまからできることを考える

第4～8回 日時：9月3日 15：00～
10月9日 15：00～
11月5日 16：00～
12月10日 19：00～
1月15日 16：00～



できることから
実行する①～⑤

第9回 日時：2月12日 16：00～

- 第8回目に続いて、具体的な取り組みの話し合い。

できることから
実行する⑥



今後も、毎月実施予定です（具体的取り組みの実施へ！）

2. 本日の進め方

(1) テーマ

第9回目のテーマ：

各グループのテーマに応じてアイデアの実現をめざそう！

(2) 前回のまとめと今回のテーマについて

1月15日に開催された「第8回昭和未来会議」の各グループでの意見については、別紙、第8回のまとめをご参照ください。

また、これまで、各グループの話し合いで意見として度々あがっていた「話し合いのメンバーが固定できないため、アイデアの実行に向けた話し合いが中々進まない」という課題が今回も参加者から上がっており、今後の方向性を検討していく必要があります。この件については、本日事務局から皆さんにご提案ができればと考えています。

今回の第9回ワークショップは、第8回に引き続き、具体的な活動のスタートに向けて話し合いを進めるグループ、これまでの話し合いのまとめを行うグループ等、それぞれのテーマに応じて、次のステップに向けたワークショップを行います。

(3) 本日のメニュー

時間	配分	プログラム
16:00~16:30	30分	・ これまでの昭和未来会議の振り返り ・ 昭和の活動報告 ・ その他、情報共有事項があれば
16:30~16:40	10分	ワークショップの進め方について説明
16:40~17:40	60分	ワークショップ
17:40~18:00	15~20分	各グループの結果の共有

(4)ワークショップの進め方

グループごとにこれまでの展開をふまえた話し合いを続けます。
 皆さんの工夫やご提案で、グループ内での合意のもと、どんどん内容を更新して頂いて結構です。今回も活発な意見交換をお願いします。
 各グループの話し合いの概要は以下の通りです。

「イベントグループ」

<これまでのストーリー>

◆イベントは、交流促進や地域に活気をもたらしきっかけとして効果的です。昭和未来会議でも、新しいイベントについての多くのアイデアがあげられました。

◆しかし、実際に新たなイベントを行うとなると、「人（中心的人物や協力者）、場所、資金、地区内の他のイベントとの兼ね合い」等の理由で、新しいイベントの開催は難しいというのが11月の昭和未来会議を終えての主な意見でした。

◆そこで、イベントグループの話し合いの節目として、既存イベントの情報整理をはじめました。

⇒イベントの意義について改めて考えて、必要な視点を取りまとめました。その上で、2つの方向性が示され、現在に至っています。

★子ども向けの防災イベントをやってみようという、アイデアが出され、実現に向けて話し合いが行われました。今回も、引き続き、イベントの実現に向けた話し合いを進めていきましょう！

☆イベント情報の整理は、イベントの意義を再確認した上で事務局が引き継ぐことになりました。事務局での整理を終えた後に、町内の関係者の皆さんに内容をご確認頂き加除を行った上で、様々な形で情報を活用していくことになりました。

※こちらは、3月の会議に向けて準備中です。

⇒既存イベントへの活性化。参加者、協力者の増加

⇒運営者が各イベントの情報をすることで、内容の磨き上げやイベントの存続に繋げる

⇒新規のイベントを考えたいという住民が出てきた際の参考とする

⇒定期的に情報を修正・更新し、昭和未来会議で管理、活用していく

第8回会議の意見

<p>・(災害)体験イベント</p> <p>NEW!!</p> <p>・ ↑ 子ども向け!! 大人の役割も</p>	<p>・ 既存の防災訓練とは別の物で</p> <p>・ 遊び心も大切</p> <p>・ 事前の地区の特徴出し</p> <p>・ 炊き出し⇔食</p> <p>・ 前回のフェスの災害イベントは 12人×5=60人 + 親子 子ども向けの物だけでなくすぐ実施できる</p>	<p>・ 両輪! (「イベント」と「日々の交流」)</p> <p>・ 接着剤としての防災イベント</p>
誰が	<p>・ メンバーの固定も必要</p> <p>・ オヤジの会を昭和地区でサポート</p> <p>・ オヤジの会、キタジマさんがお声掛け</p>	
協力	<p>・ 防災ママ かきつばた (子育てサークル)</p> <p>・ “みらい”の協力</p> <p>・ いずれ外国籍の方も (将来的に?)</p> <p>・ (高橋さん) スクールガードも巻き込んでやってあげれば</p> <p>・ 自衛隊にとってもよいPRの場に</p> <p>・ 消防も関わってくれた</p> <p>・ 学校周知でも巻き込む。夏休みに実施 参考:八ッ田小 夏休み学校でキャンプ (希望者、防災も兼ねている)。竹を切って流しそうめん。校庭でテント、東小でオヤジの会の防災イベント + 外国籍の方も巻き込む</p> <p>・ 多文化共生プランでも外国子ども・防災で ⇔ 連携</p> <p>・ 町内会 → 関わって頂きやすいように上手に巻き込む</p> <p>昭和の交流が目的なので、町内会も関わって頂くのが理想</p> <p>先例がないので、難しい?⇒まずは任意で協力してもらえるところから</p>	
情報発信	<p>・ 記録係重要</p> <p>・ 防災イベントもやるが、イベント情報整理も必要⇒皆で考えるものではない</p>	
その他	<p>・ 6~9丁目が少ない</p> <p>・ 東小、先生にもWSに入ってもらえばよい</p> <p>・ 未来会議だから、未来を考える。5~10年先</p> <p>・ PRの機会。参加者少ない。いろいろやっているが・運営する人が集まらない</p> <p>・ 企画書作っては?</p>	

「支援～グループ」

〈これまでのストーリー〉

◆ここ数回話題となっている「認知症対策」。高齢化が著しい昭和地区でも重要な対策の一つとなります。

◆これまでの会議の中でも、認知症対策についてのアイデアが幾つかあげられてきました。今後も様々な高齢者対策が必要となりますが、昭和未来会議では、まず、はじめに認知症について考える機会について検討していけないか考えていただくことにしました。

◆行政や社会福祉協議会で相談したうえで、具体的に昭和地区で認知症対策の取り組みが行えるよう、事前に事務局が準備した実施イメージをもとに検討を進めました。

⇒ 実施イメージは次頁、会議意見については、次々頁をご参照下さい。

(今後について)

- ◆まず、昭和未来会議の参加者を中心にプレ体験ができるよう、日程の調整を行います。
- ◆「劇団」のアイデア等についても、実現可能な時期や内容について検討を続けます。

<p>支援グループ</p>	<p>今年度（平成28年度）</p> <p>●活動の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座を聞くだけでなく、地域で話し合うことが大事 ・地域の人が知り合う場、顔を合わせる場にもなれば ・目的は認知症のことを理解している住民が地域にたくさんいる状況をつくること。高齢化の進む昭和地区では特に。（認知症サポーターになっただけで定期的なボランティア等で今後の活動で負担が生まれる、というものではない） ・認知症に限らず、色々な関心事について勉強できる場づくり ・支援等に取組んでいる人達の情報共有の場 <p>●反省会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所の人の話し方わからない ・どのような話が聞きたいか <p>●来年以降の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反省会の意見を踏まえ、内容を盛り上げる ・昭和地区全体で認知症サポーター養成講座を開催 ・未来会議のメンバーも有志が協力 <p>●将来的には</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和地区オジジナルの認知症サポーター養成講座に発展 ・交流の機会の機能も併せ持った催し ・認知症への理解が深い住民が増え、高齢者が安心して暮らせる地域につながる <p>●来年以降（平成29年度～）</p> <p>●将来的には</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和地区オジジナルの認知症サポーター養成講座に発展 ・交流の機会の機能も併せ持った催し ・認知症への理解が深い住民が増え、高齢者が安心して暮らせる地域につながる <p>●来年以降の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反省会の意見を踏まえ、内容を盛り上げる ・昭和地区全体で認知症サポーター養成講座を開催 ・未来会議のメンバーも有志が協力 <p>●将来的には</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和地区オジジナルの認知症サポーター養成講座に発展 ・交流の機会の機能も併せ持った催し ・認知症への理解が深い住民が増え、高齢者が安心して暮らせる地域につながる
<p>プログラム案</p>	<p>☆まず、</p> <p>みくにんちんちんサポーター養成講座を開催</p> <p>●場所の候補：老人憩いの家 ほほえみの里 知立団地集会所</p> <p>●日程：未来会議とは別の土日で、老人クラブの活動日程も踏まえ</p> <p>●参加者：未来会議参加者、関心のある地域の人々</p> <p>●内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニ認知症サポーター養成講座のダイジェスト版 ・地域の方々との意見交換会 <p>●反省会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所の人の話し方わからない ・どのような話が聞きたいか <p>●来年以降の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反省会の意見を踏まえ、内容を盛り上げる ・昭和地区全体で認知症サポーター養成講座を開催 ・未来会議のメンバーも有志が協力 <p>●将来的には</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和地区オジジナルの認知症サポーター養成講座に発展 ・交流の機会の機能も併せ持った催し ・認知症への理解が深い住民が増え、高齢者が安心して暮らせる地域につながる

H29.2.12 第9回昭和未来会

第8回の昭和未来会議用の案です、認知症サポーター養成講座の体験版の開催日程や内容について話し合いつつ、可能であれば「劇団」についてもお話を進めよう、というものでした。

第8回会議の意見

<p>さんかしゃ ふ 参加者も増やすきっかけは？</p> <p>こそだ ちいきしえん わか ひと かんげい 子育ての地域支援(若い人へ歓迎。NPO で</p>	<p>しょうわ しせつ りょう たもくてき ゆうこう 昭和の施設の利用。多目的であってもよい。有効 かつよう たいせつ 活用することが大切</p> <p>きぞんそしきかつせいか 既存組織活性化</p> <p>ちゅうしょくかいしゅうかいじょう つき かい つき かい おしゃべり昼食会集会場で月1回。月3回20～〇 じ さんかしゃ しゅつせき き か 時。参加者の出席を気に掛けている こうぎ こうてき じしゅこうぎ じしゅ 講座(公的)から自主講座(自主G)へ</p>
<p>かいらんばん まわ さんかしゃ あつ 回覧板を回すだけでは、参加者が集まら ず、声掛けで集まる</p> <p>にんちしょう よぼう はな ほう よ 認知症の予防の話をした方がよい</p> <p>しえん かが かた よぼう 支援の関わり方。予防 よぼう ちしき え 予防の知識を得ること</p>	<p>かつどう ぎょうせいじよせいほうほう けんどう サークル活動への行政助成方法の検討</p> <p>つど ばしよ いばしよ おお 集う場所(居場所)が多くあること</p> <p>うんえい 運営リーダーがいない</p> <p>じょうほう あつ ちいきぜんたい きょうゆう 情報(集まり)を地域全体が共有できるか？</p> <p>しゅう かい しゅげい しゅう かい カラオケ週1回、手芸(もやいこで週1回)いろいろ かた きょうみ も な方が興味を持てるとよい</p> <p>しょうがいがくしゅう 生涯学習</p> <p>あつ すうにん へいきん さい つき かい こてんこうぎ 集まり 40数人、平均80歳、月1回、古典講座</p> <p>しょうたーになってもなかなか にんちしょう かた せつ サポーターになってもなかなか認知症の方と接する きかい 機会がない</p> <p>いえ と 家に閉じこもらないようにする</p>

「交流の場グループ」

〈これまでのストーリー〉

◆話がなかなか進まない所以对象を絞って議論してはどうか、というご提案があり、子ども、高齢者の視点で意見交換を進めるように準備しました。

◆まずは、新規のアイデアよりも、既存の活動を中心に検討していこう。ということで、話し合いがはじまりました。

◆「グランドゴルフ」、「畑づくり」、「東小のせせらぎの会とのつながりの検討」、「“みらい”の活動とのつながり」などが、検討内容としてあげられました。

◆もうすこし、既存活動から広げる候補について検討したうえで、まず、最初に手掛けてみる活動を絞り、具体的なアクションに向けて話し合いを進めていきます。

◆第8回会議では、このグループには初めて参加するという方を中心に話し合いが行われました。新しい視点からの意見があげられています。

(アイデアの詳細は次頁をご参照下さい)

※「農園」「グランドゴルフ」等これまでの意見については、関係者の揃う機会に改めて意見交換を行うことにしました。

◆第9回会議では、「農園」「グランドゴルフ」等これまでの意見についての検討を予定しています。

◆これまでの意見に関連する方が少ない場合は、前回同様に昭和地区にある日常の交流の機会の掘り起しや発展的なアイデアについての意見交換を行います。

第8回会議の主な意見

	既存の活動	今後の取組み	その他
子ども	・“みらい”	・英語を話せる人がいるといい	
	・東小・せせらぎの会		
	・東っ子カーニバル（イベント地域の人と子ども達遊ぶ）		
		・外国の人とも関われるように	
外国人	・パルケ	・大人と子どもが遊ぶような月に1日できれば	
	・縄跳びが盛り上がった	・オヤジの会の人に協力をお願いしている	
	・現在10人くらいで運営。20歳代～高齢の方まで	・遊休農地はある	
	・いろいろな遊びがその場で生まれた	・一月に1回話し合うことをしている	
	・一月に1回やれば	・学校、幼稚園、保育園に呼び掛け	
	・畑作り 新規 ※参考刈谷		
	・毎日行かなくてはいけない？（収穫期）		
	・グランドゴルフ	・ママともコミュニケーション	・プレイパーク。遊具を運んで3～4人でやっている
		・親同士の交流が生まれるといい	・ノコギリとかトンカチとかを使う（風船、水鉄砲）
		・ブラジルとの文化の違いを伝える、共有することが大切	
高齢者	・ラジオ体操	・ラジオ体操から交流が広がる といい	・知立団地はフレンドリー
		・お母さん世代（時間のある人）が、交流できれば	・近隣との関係や利便性がいい